

## 1—日本文化紹介派遣

主催……28件(60カ国106都市) 助成……56件(41カ国86都市)

食文化、ロボット、アニメ、浮世絵木版画、建築など日本の文化13分野に関し、各分野専門家を世界各地に派遣し、講演、デモンストレーション、ワークショップを行いました。

●柴田崇徳(福祉系ロボット「パロ」開発者・産業技術総合研究所 P.15参照)／氷川竜介(アニメ評論家)、吉浦康裕(アニメーション監督)／川村浩司(加賀料理・料亭「つばき」料理長 P.15参照)／三遊亭茶楽(英語落語家)、林家今丸(切り紙)／西沢立衛(建築家)など

## 2—文化人招へい

文化人招へい……26名(22カ国)

文化の諸分野において大きな影響力をもつ、以下の方々をはじめとする各国の文化人を招へいし、日本の実情視察、関係専門家などとの意見交換を行いました。

●チチ・ペラルタ(音楽家:ドミニカ共和国)／ソブド・ナムスライ(国立ドラマ劇場館長・女優:モンゴル)／フアード・シャーキル(写真家:イラク)、テプチャイ・ユン(タイ公共放送サービス専務理事:タイ)など

## 3—文化協力

派遣……8件(8カ国13都市) 招へい……1件(1カ国) 助成……12件(13カ国17都市)

日本が有する知見や専門性を活かして、各分野の専門家の派遣や招へいを通じて、各国における文化活動を支援しました。

●樺太時代に建設された日本の歴史的建造物保存協力(ロシア)／山下泰裕氏・井上康生氏による柔道指導(イスラエル・パレスチナ)、日本の伝統工芸に関する学芸員研修(ポーランド)など

## 4—市民青少年交流

主催……7件 助成……48件(28カ国)

●ふろしきワークショップ(2カ国4都市)…リユース可能な包装材としてのふろしきを環境教育的観点から紹介するとともに、参加型ワークショップを米国(3都市)とメキシコで実施しました。

●アジア、中東・アフリカ地域の中学・高校教員招へい(63名)…海外青少年の日本理解促進を目的に、標題の地域を中心に12カ国から中学高校教員を招へい。学校訪問、文化施設などの視察や関係者との交流を行いました。

●日韓プラストビート・プロジェクト…日韓の大学生がひとつの模擬音楽会社を設立して音楽イベントをゼロからプロデュース、その収益を自分たちの選んだNPO団体等に寄附する国際社会教育プログラムを実施しました。

●東アジア地域若手リーダー層招へい…21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS)事業の一環として、ASEANを中心とする東アジア地域の若手リーダー層を招へいし、東アジアにおける重要な共通課題について、日本の実例を共有しつつ活発な議論

が行なわれました。

①「ESDと環境教育—身近な自然環境の保全と地域社会の持続可能な発展の取り組み」15カ国 24名

②「文化によるまちづくり—文化財の創造的継承の取り組み」15カ国 25名

## 5—国際展

第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(コミッショナー:北山恒、出品作家:塚本由晴、西沢立衛)、第14回バングラデシュビエンナーレ(コミッショナー:林寿美、出品作家:名和晃平)に日本側主催者として参加。また、第29回サンパウロビエンナーレに日本人作家(Chim↑Pom)およびキュレーター(長谷川祐子)を派遣しました。

## 6—海外展

主催……企画展:9件(8カ国13都市) 巡回展:93件(48カ国90都市)

助成……海外展:59件(34カ国) 市民青少年美術交流:7件(6カ国)

海外の美術館などとの共催により、以下をはじめとする、さまざまな展覧会を実施しました。

●「新次元 マンガ表現の現在」展(韓国 P.12参照)／「近代日本工芸1900-1930—伝統と変革のはざまに」展(フランス P.12参照)／山口晃展「Singa-planet」(シンガポール)、「出発(たびだち)—6人のアーティストによる旅」展(ポルトガル、メキシコ)／「WA—現代日本のデザインと調和の精神」展(フランス、韓国)など

○基金所蔵品による世界巡回展[21セット93件(48カ国90都市)]

海外の美術館等との共催で、伝統工芸から日本人形、キャラクター、プロダクトデザイン、写真、現代美術など多種多様な基金巡回展を世界各地で実施しました。主な巡回展としてキャラクター大国、ニッポン／ストラグリッド・シティーズ—60年代日本の都市プロジェクトから／手仕事のかたち—伝統と手わざ—／武道の精神／日本の現代写真—1970年代から今日まで／ウィンター・ガーデン:日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開など。

## 7—造形美術情報交流

国際交流のための基盤強化とネットワークづくり……5件(16カ国)

○第6回アジア次世代美術館キュレーター会議…アジアの美術館のネットワーク構築を目指し、インドで開催。

○中東学芸員招へい、米国学芸員招へい(P.12参照)

○ニューヨーク近代美術館(MoMA)の日本美術ソースブック刊行への協力

○日中韓文化交流フォーラム関連事業として、「あいちトリエンナーレ2010」にあわせて、国際シンポジウム「国際展のミッション—東アジアからの展望」、ならびにアーティストユニット西京人による作品展示を実施。



[左] 第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展  
カタログ「TOKYO METABOLIZING」

[中] 「新次元 マンガ表現の現在」展カタログ

[右] 山口晃「Singa-planet」展カタログ

## クリエイティブな分野／産業に従事する若手クリエイターを日本に招へい……

19名 (13カ国)

21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS) プログラムの一環として、アーティスト、デザイナーなどを日本に招き、作品制作、地域との交流やネットワーク構築のための機会を提供しました。

## 8—海外公演

主催……20件 (36カ国68都市)

以下をはじめとする海外公演を主催しました。

●スペイン・ポルトガル能楽公演／アフリカAGA-SHIO + ミュージック&リズムス 公演 (コンゴ民主共和国、南アフリカ) / “TRANS-CRIOLLA” 南米公演 (アルゼンチン、ウルグアイ、チリ P.13 参照) / 韓国J-POP (加藤和樹) 公演 / ジャズ (Unit Asia) 中東 (エジプト、トルコ) ・インド公演 / ブラジル舞踏 (大駱駝艦) 公演 / 舞踏ロシア・中国公演 (P.13参照) / 東南アジア現代邦楽公演 (カンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマー) / 極東ロシア津軽三味線・民謡公演など

助成 (国内公募) ……124件

海外公演助成プログラム (公募) を通じて、世界各地で行われた日本の舞台芸術の海外公演に助成しました。

パフォーミングアーツ・ジャパン (PAJ) ……23件 (北米: 13件、欧州: 10件)

「パフォーミングアーツ・ジャパン (PAJ) (日本の優れた舞台芸術作品を紹介する米国、欧州の文化芸術団体向けの助成プログラム) を通じて欧米で行われた舞台芸術公演・共同制作プロジェクトに助成しました。

## 9—国際舞台芸術共同制作

実施……3件 (5カ国4都市)

日本・トルコ共同制作現代音楽公演「〈日本⇄トルコ: わたりゆく音〉 Sound Migration」、日韓現代演劇共同制作「焼肉ドラゴン」韓国公演など。

## 10—舞台芸術情報交流

実施……10件

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場間の情報交流促進を図るため、「国際舞台芸術ミーティング in 横浜2011」や、日本の舞台芸術情報を日本語・英語のバイリンガルで発信するウェブサイト「Performing Arts Network Japan」 (<http://www.performingarts.jp/>) などの事業を実施しました。

## 11—日本理解促進出版・翻訳

助成……57件 (25カ国)

日本語で書かれた優れた図書 (人文 / 社会科学 / 芸術分野) の外国語への翻訳および外国語で書かれた日本文化紹介図書の出版を支援する公募プログラムを通じ助成を行いました。

## 12—国際図書展

海外開催の国際図書展に共同参加……14件 (14カ国14都市)

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のために、社団法人出版文化国際交流会等と共同参加しました。

○第21回アブダビ国際ブックフェア

○第12回モスクワ国際知的図書展 non/fiction など

## 13—テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の提供……26件 (23カ国)

日本のテレビ番組の海外放映を促進するため、スリランカ国営 S.L.C. へ「やってみようなんでも実験」「海猿 海の捜査線 海上保安官物語」などの番組を提供しました。

## 14—日本理解促進映像制作 (助成)

映画とテレビ番組の制作費助成……9件 (7カ国)

海外における日本理解を促進するため、俳句を嗜むクロアチア人の日常を描いたドキュメンタリー (クロアチア) など、日本に関する映画と番組制作に対し助成しました。

## 15—海外日本映画祭

日本映画祭・日本映画上映会……84件 (55カ国)

海外の国際映画祭での日本映画上映への助成……46件 (25カ国)

日本映画祭や日本映画の上映を、以下のとおり在外公館・海外文化機関等と共同開催しました。

○黒澤明生誕100周年記念映画祭巡回上映 (巡回国: 韓国、フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシア)

○エジプトで原爆に関する映画を特集する「Hiroshima」を実施、さらに他団体主催の事業を助成し、上映の機会をつくりました。

## 16—映像・出版情報交流

○季刊誌『Japanese Book News』(No.64~67) 刊行…海外の出版社・翻訳者向けの日本の文芸の情報誌を刊行

○『New Cinema from Japan』共同発行 (年2回) …日本映画の基本情報を海外に提供する内容の書籍をユニジャパンと共同で発刊

## 17—国際漫画賞・アニメ文化大使事業への協力

海外でマンガの普及啓蒙活動に貢献する新進のマンガ作家を顕彰する「国際漫画賞」(主催: 国際漫画賞実行委員会) の最優秀賞受賞者と優秀賞受賞者計4名を日本に招へいするとともに、海外におけるアニメ文化大使 (ドラえもん) の外国語字幕付DVDの上映会に協力しました (46回、15カ国18都市)。

## 18—日中交流センター

2010年度は「中国高校生長期招へい事業」として第五期生38名を招へい、また「ふれあいの場」が重慶市、広東省広州市に新たに開設されました。さらに「心连心ウェブサイト」上でも日中の若者の交流を促進しています。

[左] ウェブサイト「Performing Arts Network Japan」

[中] 『Japanese Book News』

[右] 『New Cinema from Japan』

